セカンド・ラブ（1983）

メディア 映画
ジャンル ロマンス　ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1983/04/08

【解説】
　東陽一が田中晶子とともに執筆したシナリオをもとに映画化したラブロマンス。大原麗子がヒロインを好演した。
　グリーンコーディネータ（園芸装飾家）の日向一実は二歳年下の夫と二年前に再婚した。夫の秀夫は建築家だったが、家にかかってくる無言電話が一実の前夫の仕業ではないかと疑っていた。一実は妊娠の兆候に気づいていたが、なぜか秀夫には打ち明けられずにいた。一実の取材に来たフリーライターの展子は、そこで知り合った秀夫に興味を持ち、付きまとうようになる。一方、一実は喫茶店のマスターである友晴に言い寄られていた。一実と秀夫はお互い抱えているものを吐き出せず、悶々とした日々を過ごしていたのだが、そんな二人の家で死体が発見され…。

【クレジット】
監督 東陽一
製作 吉田達
　　前田勝弘
脚本 田中晶子
　　東陽一
撮影 川上皓市
美術 綾部郁郎
編集 市原啓子
音楽 田中未知
助監督 栗原剛志
出演 大原麗子
　　小林薫
　　アイ・ジョージ
　　中村れい子
　　河原崎健三

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.